

総合型クラブ Times

月刊総合型地域スポーツクラブ情報
さあ、クラブへ行こう！

2022 No.6

しまね広域スポーツセンター発行

松江市内中原町 20-1

公益財団法人島根県スポーツ協会内

TEL 0852-60-5053

E-mail shimaneken@japan-sports.or.jp



Event

サイクリング&カヤック体験会

Pegasus クラブ(益田市)

クラブでは毎年の恒例イベントとなっているサイクリング&カヤック。今回は3年ぶりに開催される「第9回 益田I・NA・KAライド」実行委員会と共催し、新たな益田のアクティビティを目指して開催した。参加者は小学1年生から大人まで。イベントスタート地点となるグラントワから高津川沿いの艇庫までサイクリング、高津川で90分程度カヤックを体験後、またグラントワまでサイクリングという全長20kmの長いコースだったが、クラブメンバーが事前に走りやすいコースを選定し、指導も丁寧に行われていたため安心して参加できていた。益田市観光協会仲田氏によれば、「高津川を見て楽しむことはできるが、実際に感じることはない。そんな中、Pegasusクラブのカヤックは高津川を中から体感できる貴重なアクティビティ。帰省した人や県外・海外からの観光客に人気が出ている。」とのことと、イベント後も複数の団体からオファーを受けている。



Event

サイレント キャンドルナイト in しんじ

..... NPO法人しんじ湖スポーツクラブ(松江市)

東日本大震災復興支援を目的としたイベントで、今年3月に引き続き、夏は3年ぶり9回目の開催である。今回、会場を、以前の宍道総合公園野球場から宍道高校グラウンドに移したことで、キャンドルアートを見下ろすことができるいいロケーションとなり、来場者約300名は夏の疲れを癒す穏やかな時間を過ごしていた。

協力団体約20団体、ボランティアスタッフ約100名。会場が学校グラウンドになったことで、今まで以上に中高生からの協力も得ることができ、さらに連携の幅が広がっている。クラブスタッフは、「イベントを開催する度にクラブは地域住民の力で成り立っていることを感じている。今後もこの繋がりを大切に地域と共に歩んでいきたい。」と話していた。地域を牽引していく、まさに「まちづくり」イベントである。



Event

クラブ版SASUKE

..... あさひスポーツクラブ(浜田市)

子ども教室の中で年数回イベントを行い、モチベーションアップを図っている。この日は、“クラブ版SASUKE”と称したイベントを開催。事前に、指導者が旭なごみ体操場の器械体操器具を活用した3つのステージを設定し、飛んだり走ったり登ったり渡ったりいろいろな動きをこなすタイムトライアルを行った。ファイナルステージのロープクライミングは、登れない子どももいたが、全ての子どもたちが臆することなくチャレンジし、その気持ちを指導者が温かい言葉で讃えていた。事務局であり指導者である大屋氏によれば、「最近の学校では制約が多く、ロープ登りのように危機管理面から経験できない運動が増えている。それらを補うのが社会体育活動であり、クラブでは様々な運動を経験できるよう工夫している。その結果、何にでもチャレンジしようという気持ちが育ち、クラブの子どもは野生児と言われるほど。」とのことだった。このクラブの子どもたちは、生涯にわたってスポーツを楽しむ術も学んでいるように感じた。



Class

フットサル

..... おおの輪・和・ワークラブ(松江市)

対 象 小学生 指導者 金阪博

大野小学校体育館を会場に、フットサルを楽しむ活動を行っている。子どもは、通常2年生から6年生までの男女約10人程度が参加しており、大野小学校全校児童数の3分の1を占めている。大会は目指していないが、ゲームを中心に約1時間笑いながら汗まみれになって動いている。ボランティアで指導する金阪氏は、「クラブ設立時と比べると、現在は人口減少に伴いスポーツ参加者も減少し、クラブの存続に懸念を抱いている。ただ、クラブの活動をきっかけに、中高でサッカー部に入ったり、大人になってクラブに戻ってくるメンバーもいる。子どもの中には、スポーツをするために遠方に通えない子どもたちもいるので、今後も続けようと思う。また、数年後には大野小学校は合併になる。今の活動が、子どもたちにとって大野で育ったいい思い出になればいい。」と言われていた。指導者の思いで支えられているクラブの現状を知ると共に、地域の変化が及ぼす総合型クラブ存続に対する課題を痛感した。



Class

月よう元気っ子

..... 煌めきクラブ周布(浜田市)

対 象 小学1～4年生 指導者 小川豊・川方啓太郎・牛尾真由美

クラブ事業は、日曜日の一般対象教室と、月曜日の小学生対象教室の2つのみであるため、いずれも多項目型スポーツを行っている。中でも、小学1～4年生対象「月よう元気っ子」では、縄跳び、鬼ごっこ、マット運動、リレー、ドッジボールを中心に、様々な運動体験ができるよう工夫している。今年度の参加者は昨年度より多く15名。まちづくりセンター会議室では狭いが、そんなことはお構いなしというようにのびのびと体を動かしていた。ただ、子どもたちが通いやすい場所ではあるが、近隣に住んでいる子どもたちが歩いて帰ることについて防犯の観点から課題はある。さらに、教室開始から10年以上を経ても変わらない運動環境を維持している指導者の功績は大きい。今後の継続のためには、新たな人材確保が必要である。



名物「おやじクラブ」が支えるクラブ事業

..... NPO法人しんじ湖スポーツクラブ(松江市)

クラブでは、「おやじクラブ」が企画する「あそび塾」という事業を行っている。おやじクラブとは、クラブ設立当初より、共にイベントを企画・運営してきたメンバーで結成された指導者グループで、企画および現場をおやじクラブが行うことで、幅広い企画や参加者サポートの充実が図れる上、クラブは安全管理等を徹底することができている。あそび塾の子どもたちの反応はととてもよく、保護者からも「モノづくりで遊んだ時には、家に帰ってからもずっと遊んでいる。」など好評。課題は、人材減少とそれに伴う個々の負担があげられるが、クラブではイベント回数の制限等を行い、活動を維持・継続する努力を行っている。

○設立の経緯

平成16年、当時のクラブマネージャー持田氏とクラブ支援者の間で、最近のスポーツ少年団のケガは外遊びが不足していることが原因ではないかとの会話をきっかけに、子どもたちに野山や川、自然の中での遊びの場をつくることを目的とした「あそび塾」を開催することになった。開催にあたっては、当時のクラブ活動の協力者に声をかけ、人生経験豊かな「おやじ」さんや子どもと遊ぶのが好きな人たちが集まり、「おやじクラブ」を設立。その後、しんじ湖スポーツクラブのボランティアグループとして、子どもまたは親子を対象とした年3～4回のクラブ主催イベント「あそび塾」を企画し指導している。

○メンバー

50～70代の男性10名。基本的にはスポーツの経験の有無に関係なく、趣旨に賛同する人。

○指導(活動)目的

自然体験・モノづくり・全身を使う外遊びの場を提供することで、体力低下防止やコミュニケーション能力の向上を図る。また、楽しい体験を通し、子どもの五感を刺激し、健やかな育ちを応援する。

○指導(活動)内容

外遊び、山登り、川遊び、ゴズ釣り、モノづくり、昔遊び、世代間交流等



月刊「総合型クラブ Times」は、行政および総合型地域スポーツクラブのみなさまに、**島根県内すべての総合型クラブ情報**をご提供するものです。
みなさまからのクラブ情報もお待ちしています！

